

# 神奈川災害ボランティアネットワーク

## 志賀町ボラバス参加報告

葉山SVN 吉田見岳

- 内容 かながわ能登支援ボラバス9便(今回はかながわ災ボラバスチーム主催)
- 参加人数 22名 男性 15名 女性 7名
- 日付 出発:6/21 活動:6/22 帰着:6/23
- 活動場所:志賀町富来地域



位置図



# 志賀町は

- 能登半島中部域西 20年前に旧志賀町とその北地域の富来町合併 人口17000人 面積250m<sup>2</sup> 南北に長い漁業農業の町から原発ができて工場誘致推進してきた 一方、10年前から風力発電が稼働しその設備が目立つ 風車はまわっているものあり今回の被災は見えなかった
- 防災告知として、最近の地震発生もあり、町ケーブルTVネット、町内放送がある 6/22朝は6/22夕から翌日にかけての天気予報の大雨に注意準備に町内放送
- 被害は 死者2名、全壊548棟、半壊2386棟、一部損壊4435棟、浸水11棟(非住家被災3982棟) (県被災状況6/18資料及び内閣府被害状況6/4資料参照)  
断水戸数8800戸(5/31)

聴くと周囲では一部損壊とされたが半壊の可能性あり再申請中もあり  
危険度判定など追いつかない状況か？ 支援被災宅では通水していた  
道路は仮舗装されていると思われる個所が散見された

1次避難所 5か所123名

志貴町災害VC(5/31移転)場所の富来行政センター倉庫でも避難所隣接

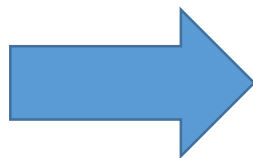


# 志賀町災害ボランティアセンター

- 場所は災害VCは5/31移転し場所は富来行政センター倉庫
  - 1/27志賀町文化ホール内(70名入るとほぼ満杯の規模)で活動開始  
初日、県応募ボラバスで災ボラ35名でニーズ6件の活動、内3件完了
  - 2/3県応募ボラバス受付増で2/10には延べ災ボラ800名
    - この時点で延べニーズ受付420件に処理済110件の状態
  - 2/23 道路事情、駐車場確保の問題から近隣市町在住者災ボラの独自個別受付開始
  - 日100名以上の活動ペースで 4/3 延べニーズ受付1200件、75%
  - 5月連休前 4/27ニーズローラー作戦開始
  - 連休中、特に学生参加で災ボラ増も連休後ニーズ完了率70%推移
  - 5/31 被災の多い富来地区の富来行政センター倉庫に移設
  - 7/1「志賀町地域支え合いセンター」に移行する予定



志賀町文化ホール(志賀町高浜町カ-1-1)正面より右手奥がボランティアセンターです。お車は文化ホール正面左手の駐車スペースに止め、徒歩でお越しください。



# 災害ボランティアセンターについて

- 活動の中心は災害ゴミ撤去が中心と思われ、災ボラに軽トラック(2人に1台)と資器材を渡し、災ボラ自身が、依頼先の処分ゴミを収集しゴミ集積場に運ぶ
  - 依頼先、ゴミ集積場、利用可能トイレなどの位置情報は全てQRコード提示
  - 主な処分内容まで写真で提示
  - 我々22名は3グループで近い依頼先にて活動したが、終わったグループは我々の判断で終わってない依頼先に参加するように依頼された
    - 終了後の他の依頼先参加は災害VCに電話連絡する形
  - ゴミ集積場は志賀町で2カ所、我々はその一つの志賀町野球場の集積場に
    - 災害ゴミ分類は10種に分かれ、軽トラ積み込み順と集積場分配の注意有
- 活動日は週3日(木、金、土)、活動依頼票と写真などの資料、マップ位置QRコード表をもとにニーズ説明し、軽トラックキーと資器材を渡して活動依頼
  - 今回ボラ受付は3団体(神奈川災ボラ(我々)、志賀高校、かわせみ)
- 災ボラ受付、ニーズ説明、資器材貸与は倉庫前エリアでオープンに
- 一般ボラと別に技術型ボラ(専門)がセンターでのニーズに連携して活動している
  - 技術型ボラは崩れブロック塀解体や解体前家屋からの生活物資運び出しなど
- ニーズ対応スタッフは、相応人数がいるよう。受付ニーズとともに、現調班、ローラー一班
  - 現調班、ローラー一班は現在も大変なよう(FB情報より)
  - 5月の現調班は活動依頼関係資料作成で、FBではGoogleMapにふりまわされたと



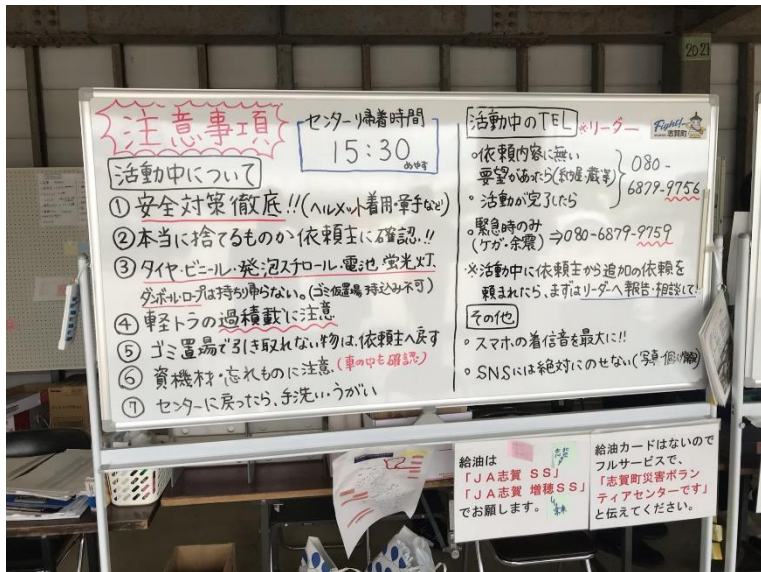
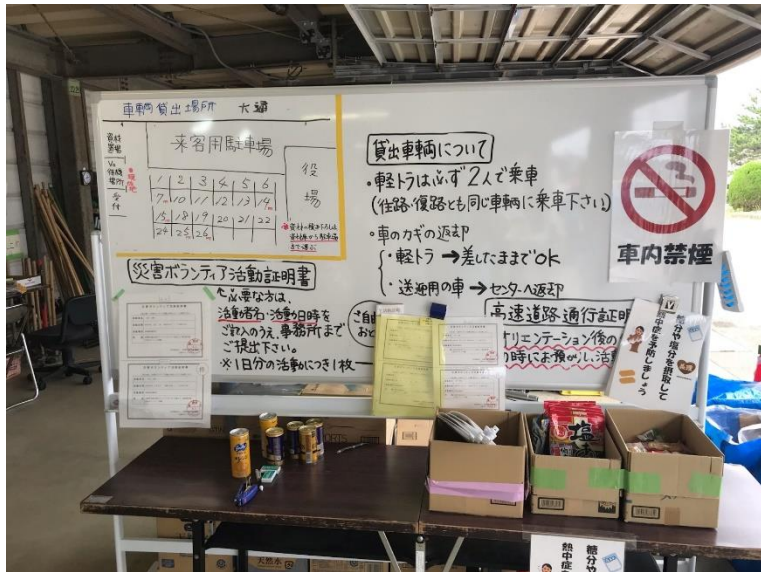
# 災害ボランティアセンターで

- 災ボラ受付は倉庫前でオープンに
- 倉庫前でグループ分けしてニーズ説明し、資機材貸出



# 災害ボランティアセンターで

- 軽トラに災ボラ2名で活動 活動証明書発行手続き 注意事項 15:30帰着 掲示
- 内部に事務机の場所



志賀町災害VC Facebookより転載

# 災害ボランティアセンターで物資貸出

- ヘルメット貸出、マスク提供など相応にあり 内側で軽トラ一覧掲示にキー取り付け工夫





# 災害ボランティアセンターからの情報

- 活動依頼とともに ゴミ処理注意 ゴミ分類一覧 拠点マップ情報QRコード表

2021

## ゴミすてのこについて

- ゴミ仮置場  
12:00~13:00は昼休憩の為休止
- 可燃ゴミ・資源ゴミは仮置場への持ち込み不可
- 袋の中に入っているゴミは、中身を確認すること!
- 仮置場で引き取ってくれないものは、依頼主へ戻す

※依頼主に本当に捨てていいか確認してね!!

## 休憩場所・トイレ

昼休憩時間 12:00~13:00

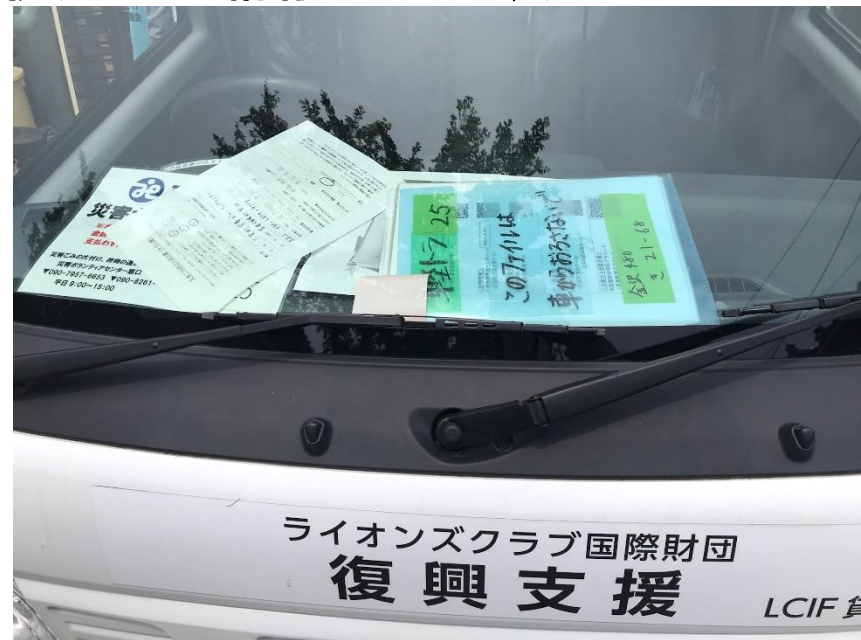
- 志賀地域(休憩のみ)  
志賀町文化ホール
- 富来地域  
(休憩・トイレ)とぎ地域福祉センター  
(トイレ)富来活性化センター

※土曜日は一部環境のものが持ち込み不可!!  
全量のものも不可!!

## 仮ゴミ置場 / 16:00まで

志賀地域...旧志賀町中学校グラウンド  
富来地域...富来野球場

ボランティア登録には加入済みですか? 必ず加入をお願いします。  
Do you have volunteer insurance?



ライオンズクラブ国際財団  
**復興支援**  
LCIF 負

災害廃棄物(片付けごみ)品目一覧表

志賀町役場 環境安全課

分類	品目(具体例)	備考
・可燃粗大ごみ (プラスチック家具・木製家具)	椅子・ソファ・学習机・机、衣装ケース	取り付けたガラスは取り除く。
・可燃粗大ごみ (畳・布団・じゅうたん)	畳・布団・じゅうたん・カーテン、むしろ	衣類は不可。
・木くず	建材	例木した木は、幹と葉も分ける。撥権は不可。
・金属くず	自転車、傘、なべ	主に金属部品でできているもの。
・小型家電	電子レンジ、電子ポット、掃除機、炊飯器	基本コンセントがついているもの。電池、バッテリーは外す。
・ガラス・陶磁器くず	・お皿・割れた窓ガラス・グラス	破損品は不可。(割れているものは可)
・コンクリート	倒れたコンクリートブロック	地震で崩れたものだけ。解体しては不可
・壁材スレート	石膏ボード、木枠板(志賀のみ)	地震で崩れたものだけ。解体しては不可
・瓦	瓦	地震で落ちた瓦に限る。
・家電リサイクル	テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機	業務用は冷蔵庫、冷凍庫のみ

### 富来地域

<トイレ>  
富来活性化センター  
(志賀町富来領家町甲10) 外に数箇所あります

<休憩場所>  
とぎ地域福祉センター  
(志賀町酒見河原50) 仮設トイレあります

<災害ゴミ仮置き場>  
富来野球場  
(志賀町八幡黄49)

### 志賀地域

<休憩場所・トイレ>  
志賀町災害ボランティアセンター  
(志賀町文化ホール  
志賀町高浜町カ1の1)

<災害ゴミ仮置き場>  
旧志賀町中学校グラウンド  
(志賀町菅グラウンド  
志賀町堀松6-8-2)



# 被災地周辺

- 屋根の尾根、特に鬼瓦が崩れた家が多い
- 被災者宅 町の家屋調査結果(聞くと仮のような)に調査済票 見ると調査日付は5/25



道路が隆起又は沈下して仮舗装の箇所あり  
左記は渤海温泉施設の  
周囲地域が沈下

調査済証

調査番号	07700
------	-------

この建物は、罹災別冊を発行するための調査を行いました。  
被害程度を把握・調査し、建物が一ヶ月程度で解体時に  
記入いただいた取付方法により罹災別冊を交付いたします。  
(窓口受取を希望された方は、受取日をご連絡いたします。)

調査日時 5月25日 午前・午後 (10:00)

【問い合わせ先】  
志賀町役場 税務課 電話 0767-32-9141

# 依頼先からゴミ集積場に



- 依頼先(A)から途中の災害VC(B)を過ぎてゴミ集積場(C) 車で約20分

# 活動を通じてもう一言

- 今回のボラバス参加メンバーは災ボラ経験者が多く、顔見知りも多かった。そのせいか、活動リーダーは休憩時間声掛けも忘れる時があった。私は適時離れて休憩してタイトではない活動だった
- 被災地やゴミ集積場まで軽トラでマップ位置情報QRコードを受けて、移動の形で軽トラにはナビなく、スマホにカーナビアプリが必要であった。私には経験ない方式だった
- 災害VCスタッフは若く経験浅いようだが丁寧で気楽にメンバー写真撮影や質問にも応えようとして災ボラへの謝意姿勢を感じた。災害VCでの掲示は相応にあり、内容も解り易かった。
- 支援の被災宅(海岸近く)家主に聞くと1/1地震発生後、津波避難要請で家族全員で高台避難個所に必死で避難したと(この地域は実際津波影響はなかったが)で命の危険も感じたとのこと
- 被災者宅家主は被災後、何も手につかずにいたが、やっと町の家屋調査を受けたのちに家の片づけをしようと支援依頼したとのこと。これから趣味の釣りを始めたいと言っていた。
- 今回メンバーで海岸で昼食をしたが、磯に小魚、岩場にカモメ景色よくのんびりしたすてきな町
- 依頼先周辺は野良猫が多く、地域住民皆さんでかわいがっているよう。ペットフードを与えていると

